

## 文教厚生委員会会議録

- 1 期 日 平成27年9月18日(金)
- 2 会 場 第2委員会室
- 3 開会時刻 午前 9時58分
- 4 閉会時刻 午前11時59分
- 5 出席者 委員長 草賀 章吉 副委員長 小沼 秀朗  
委員 大石 與志登 委員 山崎 恒男  
" 中上 禮一 " 山本 行男  
" 渡邊 久次 " 山本 裕三
- 当局側出席者 浅井副市長、教育長、健康福祉部長、健康福祉部付参与、  
こども希望部長、教育次長、所管課長
- 事務局出席者 議事調査係 鈴木康倫

### 6 審査事項

- ・議案第91号 平成27年度掛川市一般会計補正予算(第4号)について  
第1条 歳入歳出予算の補正  
歳入中 所管部分  
歳出中 第3款 民生費  
第4款 衛生費  
第10款 教育費
- ・議案第92号 平成27年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について
- ・議案第93号 平成27年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1号)について
- ・議案第94号 平成27年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第1号)について
- ・閉会中継続調査申し出事項について 5項目
- ・その他

### 7 会議の概要 別紙のとおり

以上のとおり、報告いたします。

平成27年 9月18日

市議会議長 竹 嶋 善 彦 様

文教厚生委員長 草 賀 章 吉

## 7 会議の概要

平成27年9月18日（金）午前 9時58分から、第2委員会室において全委員出席のもと開催。

- 1) 委員長あいさつ
- 2) 当局（副市長）あいさつ
- 3) 付託案件審査

### ①議案第91号 平成27年度掛川市一般会計補正予算（第4号）について

|     |           |
|-----|-----------|
| 第1条 | 歳入歳出予算の補正 |
| 歳入中 | 所管部分      |
| 歳出中 | 第3款 民生費   |
|     | 第4款 衛生費   |
|     | 第10款 教育費  |

#### 第3款 民生費

〔高齢者支援課、説明 10:00 ～ 10:03 〕

〔質 疑 10:03 ～ 10:10 〕

- 草賀章吉委員長  
担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。
- 渡邊久次委員  
43頁の介護施設等開設準備事業によってどのくらいのサービス向上になったか。
- 深谷高齢者支援課長  
小規模多機能事業所については、定員が6名、グループホームが18名となる。
- 草賀章吉委員長  
おおすか苑が事業主体で小規模多機能居宅介護事業は以前は儲からなかったが、今は採算としてはどうなのか。シミュレーションはしているのか。
- 深谷高齢者支援課長  
おおすか苑から公募があったときは、いろんな条件で事業を実施したいという提案があった。地域との連携を強化して運営していくということだが、採算性についての答えは難しい。現状は施設の規模、人数等を満たしていれば設置については認定している。その後は事業所の努力がかなり大きいと思う。
- 草賀章吉委員長  
国は小規模多機能を進めようとしているが、事業全体で採算をとれるようにすれば良いと言ふことなのか、あるいは小規模多機能を単独で実施しても採算がとれるようになるのかを考え、全体で採算をとれるようにと言ふことではないと思う。おおすか苑が負担になってはいけないし、詳細を詳しく説明して欲しい。
- 柴田高齢者支援課主幹  
小規模多機能については、通所のデイサービス及びショートステイを同じところで行うのがメリットになる。たとえば、通所でデイサービスを使っている、家族が預かって欲しいと要望があった場合は、そのままショートステイに切り替えすることもメリットである。小規模で両方やっているメリットを周知すれば、利用者の増加に繋がると考えている。企業も頑張ってもらふ必要があるが、行政もPR等を考えていきたい。

- 山本裕三委員  
認知症の方がグループホームに入所する際の費用は他の施設と比べてどうなのか。
- 深谷高齢者支援課長  
特養と比較してもらえると、ユニット型より少し安くて、多床室より少し高いという感じである。
- 山本行男委員  
スプリンクラーについて、先日悲惨な事件があったが、現在の設置状況はどうか。
- 深谷高齢者支援課長  
全施設設置されている。
- 草賀章吉委員長  
質疑を終了する。

[こども希望課、説明 10:17 ~ 10:20 ]

[質 疑 10:20 ~ 10:33 ]

- 草賀章吉委員長  
担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。
- 山本裕三委員  
公設される保育園の建物について、今後、子どもが減ってきたときの場合を考えて、その施設を他に活用出来るような設計計画はあるのか。
- 松下こども希望課長  
当初は保育園として、建設する。その後園児数が減少した場合には検討することになる。まずは、子どもの安心・安全を第一に考えた施設になる。
- 中上禮一委員  
上土方にできる企業内保育について、補助は出てるのか。
- 松下こども希望課長  
県の企業局から補助が出ており、市からの補助は無い。しかし、運営に対するアドバイスはしている。
- 中上禮一委員  
県からの補助が出ると言うことは、将来的には企業内だけではなく企業外も視野に入れているのか。
- 松下こども希望課長  
当初は企業内で開始し、枠があれば地元や希望者等を考えているようである。
- 小沼秀朗副委員長  
43頁の公設民営で整備する2園について、宮脇と掛二でよいか。宮脇について契約の期間等はあるのか。
- 松下こども希望課長  
特に定めてない。
- 小沼秀朗副委員長

事業者は市外の人だと思うが、市内でやってくれるところはなかったのか。

●松下こども希望課長

市内の各保育園にも声をかけたが難しいという事だった。しかし宮脇で運営する業者は掛川北病院及び東病院の院内保育を実施しており、現在でも保育園を運営しているので、掛川を知らないわけではない。

○小沼秀朗副委員長

北病院と東病院の保育園も28年4月にオープンなのか。

●松下こども希望課長

既に北病院と東病院では運営している。宮脇の小規模保育事業所は28年4月からオープンの予定である。

○山本行男委員

日曜日の新聞織り込みに入ってくる求人募集の欄に、募集が載っていた。オープンまでにスタッフが間に合うのか。

●松下こども希望課長

保育士人材確保については、大変心配している。現在静岡以西の保育士養成の専門学校、短大、大学合わせて9校に出向き、就職のお願いをしてきた。その結果、数人から問い合わせがあった。また、市職員の退職者にも通知を出して協力依頼をしている。さらに、11月には再就職支援セミナーがあり、就職をためらっている人等のためにセミナーの開催を予定している。

○山本行男委員

OBの反応はどうか。

●松下こども希望課長

確定している人はいない。

○山本裕三委員

採用人数は何人か。

●松下こども希望課長

市が採用するわけではないが、34名必要と考えている。

○草賀章吉委員長

27頁の基金繰り入れについて残高はいくらになるのか。

●松下こども希望課長

残高は、8,717万3千円である。

○山崎恒男委員

中上禮一委員の関連で、土方工業団地に企業内保育ができるということだが、そこは複数企業あるが、工業団地のように何社が共同で設置する事になると思うが、単独で設置することもできるのか。また、企業局の助成があるということだが、どのくらいの企業内設置の補助があるのか。

●松下こども希望課長

単独でも企業所内保育の設置は可能である。  
企業局からの支援については、主幹から答弁する。

●杉村こども希望課主幹

労働局の助成について中小企業だと最大2,300万円である。運営にかかる費用も5年間助成される。

○山崎恒男委員

企業の規模については、制限や基準はあるのか。

●杉村こども希望課主幹

規模の基準は無い。しかし、現在市内の10社ほど訪問したが、会社に保育所があれば便利という意識はあるが、単独で園を作るのは、従業員の数にもよるが費用が掛かるので、工業団地などは、そこに作っておけば周りの企業と調整ができる。1社独自だと、磐田のヤマハ位の大きな企業になる。

○渡邊久次委員

今回は土方ということだが、企業の共同運営なのか。

●杉村こども希望課主幹

とりあえず、やれるところまでは1社でやってみて、枠があれば周りの企業の受け入れも考えていきたいという事だった。

○渡邊久次委員

市長も企業の協力も大事という話があったが、今度広げていくような取り組みはあるのか。

●松下こども希望課長

商工観光課とも相談しながら企業訪問し、なるべく広げていきたいと考えている。

○山本行男委員

建物はリースだと思うが、何年リースなのか。

●松下こども希望課長

掛二の乳児保育園については10年、宮脇は5年と考えている。

○山本行男委員

この期間までに待機児童の状態を見て再契約もあるということか。

●松下こども希望課長

その通りである。

●高川子ども希望部長

再契約について、リースは5年と10年で償還が終了となる。それ以降の支払いは無くなる。園児が少なくなった場合に、継続するか、止めるのか、あるいは他の施設に変えていくのかの検討は必要と考えている。

○草賀章吉委員長

質疑を終了する。

#### 第4款 衛生費

〔地域医療推進課、説明 10:11 ～ 10:14 〕

〔質 疑 10:14 ～ 10:16 〕

○草賀章吉委員長

担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

○小沼秀朗副委員長

中東遠総合医療センター出資金について、これは今後も出資する可能性があるのか。

●平野地域医療推進課長

出資については、今回に限るものである。

○渡邊久次委員

経営基盤安定化のための中東遠総合医療センター出資金という名目だが、目的は理解出来るが、返還はあるのか。

●平野地域医療推進課長

出資金とした理由は、病院の貸借対照表に資本金として計上される。これにより、病院の財務状況の改善体質に繋がる。たとえば、貸付金となると負債の扱いとなるため、出資金としている。

償還については、今後策定される新公立病院改革プランに基づき、財務状況を改善して平成37年度から平成41年度まで2億円ずつ2市へ返済する計画となっている。

○草賀章吉委員長

質疑を終了する。

## 第10款 教育費

〔学校教育課、説明 10:33 ～ 10:34 〕

〔質 疑 10:34 ～ 10:36 〕

○草賀章吉委員長

担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

○中上禮一委員

予算額が少額だが、検査対象の児童・生徒は何人くらいか。

●佐藤学校教育課長

児童生徒を年度末までで65人と見込んでいる。年度当初は35人で見込んでいたが、30人の増加を見込んでいる。補正の額は30人分の金額である。

○中上禮一委員

専門的な分野としては報酬が少ないと感じるがどうなのか。

●佐藤学校教育課長

おっしゃるとおり。退職の先生や臨床心理士の資格を持っている方や、市の教育センターに勤務されていた方など、しっかりとした目で検査しないといけない。いろんな資格を持っている人ほど、金額が高いので、なるべく身近な人で対応している。

○草賀章吉委員長

質疑を終了する。

〔社会教育課、説明 10:37 ～ 10:40 〕

〔質 疑 10:40 ～ 10:41 〕

○草賀章吉委員長

担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

○山本行男委員

この古墳に対して具体的に何を実施していくのか。

●栗田社会教育課長

吉岡古墳については発掘調査を行ってきており、古墳の形がはっきりしてきた。簡潔に説明すれば、古墳公園のような、当時の姿に復元しながら散策路やトイレを整備していく。

○草賀章吉委員長

質疑を終了する。

〔討 論〕

なし

〔採 決〕

議案第91号 平成27年度掛川市一般会計補正予算（第4号）について

全会一致にて原案とおり可決

---

②議案第92号 平成27年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について

[ 10:43 ~ 10:52 ]

〔国保年金課、説明 10:43 ~ 10:48 〕

〔質 疑 10:48 ~ 10:52 〕

○草賀章吉委員長

担当課の説明が終わった。質疑をお願いします。

○大石與志登委員

国保には法定外繰り入れが入っているが、今回は繰越金が合計で5億5,833万4千円の金額が出ている。他の特別会計を見ると繰入金の減額をしているのが多いが、国保は減額が駄目なのか。財政的に考えると、余ったら一般会計に返還し、必要な分は繰り入れた方が良いのではないか。

●太田国保年金課長

予算的には可能だが、予算を組む段階において、国保は不足が許されないもので、ある程度の余裕を持って予算を組む。例年、特別な医療費の増加が無ければ、3億円程度の余剰金が出る。平成26年度も3億8千万円を基金から取り崩して、法定外を1億5千万円入れている。その時も当初はぎりぎり予算を組んで、結果的に決算として余剰金が出たが、それには1億5千万円の法定外繰り入れと3億8千万円の基金繰り入れをした上での余剰金であるので、不測の事態に備えいったんは基金へ積むが、今年度中に必要な場合、あるいは来年度予算を組むときはそれを財源として組む。自転車操業みたいに厳しい財政であるので、基金を使い切ってしまうようになるが、基金としてはいったんは積んでおきたい。足りない部分は入れてもらうことも可能かもしれないが、運営上現状ではどうしてもこのような予算措置となる。

○大石與志登委員

予算編成上のテクニックだと思う。3月の診療分はなかなか把握出来ないというのもあるが、今までの経過でおおよその額は把握出来るのではないかと思う。それで余る分は返還をして、来年度再度繰り入れる。いずれ保険税も値上げしなければならない時期が来ると思う。市民に理解してもらうには、わかりやすい運用にするように検討した方がよいのではないか。

●太田国保年金課長

今後検討していく。

○草賀章吉委員長

質疑を終了する。

[討 論]  
なし

[採 決]  
議案第9 2号 平成27年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について  
全会一致にて原案とおり可決

---

③議案第9 3号 平成27年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第1号）  
について

[ 10:53 ~ 10:55 ]

[国保年金課、説明 10:53 ~ 10:55 ]

[質 疑 なし ]

○草賀章吉委員長  
担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

○草賀章吉委員長  
質疑を終了する。

[討 論]  
なし

[採 決]  
議案第9 3号 平成27年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第1号）につい  
て  
全会一致にて原案とおり可決

---

④議案第9 4号 平成27年度掛川市介護保険特別会計補正予算（第1号）について

[ 10:56 ~ 11:01 ]

[高齢者支援課、説明 10:56 ~ 11:01 ]

[質 疑 11:01 ~ 11:05 ]

○草賀章吉委員長  
担当課の説明が終わった。質疑をお願いする。

○渡邊久次委員  
給付支払準備基金積立金の補正前が7千359万4千円で補正額が8,730万1千円であり、当初予算  
額より補正額が多いが、理由は何か。

●深谷高齢者支援課長  
昨年度、後半に補正をさせて頂いた。介護費用がかなり掛かると見込んだが、その分の残金  
があったので、戻すような形となった。去年の見込みが多かったことが原因である。

○山本行男委員  
介護保険システム改修委託料について、国が変わるたびにシステム改修費が発生する。これ  
はかなり高額である。全国で実施していると思うが、膨大な費用が掛かっている。市町により



会計処理などが違うため一概に言えない所もあるが、そのような声が市町から出ているのか。  
このようなことをやっているるととても無駄だと感じる。

●深谷高齢者支援課長

確かにシステム改修費が掛かっている。特に他の市町からの話は聞いていない。

○山本行男委員

経済活性化も含んでいるが、市町の負担も大きいので国や県に要望して行くべきでだと思うので、そのような意見があったことを言って欲しい。

●齋藤健康福祉部長

大変必要なことだと思う。今までも、全国市長会の要望にも個々の市町村が負担すると大変なので、このような改修の時には国からの手当をして欲しいといったような要望があったのは見たことがある。

前提として、システムを一緒にしていく必要がある。自治体によってNECや富士通などのメーカーを使っているので、その辺の統一の必要性や今はクラウドなどの統一の方向もあるので、今後内部で検討していきたい。

○草賀章吉委員長

質疑を終了する。

〔討 論〕

なし

〔採 決〕

議案第94号 平成27年度掛川市介護保険特別会計補正予算（第1号）について  
全会一致にて原案とおり可決

---